

BS・LPIの評価を行いますので、次の2点を提出してください。【提出期限：2月13日(金) 〆切厳守】

1 1年間の振り返り（別紙B4 1枚） ※個人で作成

別紙の指示に従い振り返りを記入する。【評価】欄に基づいて5段階評価をするので参考にすること。

また、Word等で下書きをしてから記入し、その下書きのデータは残しておくこと。後日、フォームで入力してもらいかもしれません。 【提出先】 班の担当の先生

2 研究要旨（計画表） ※班ごとに作成

班で協力して課題研究要旨（計画表）を、下の例を参考に作成してください。項目は、

- 1 研究の動機及び目的 2 研究方法（実験方法） 3 結果と考察 4 今後の課題と展望 5 参考文献
（3は書ける範囲で書く）

WordでA4 1枚を作成してください。裏面に評価のためのルーブリック①があるので参考にすること。

WordデータのテンプレートをClassiで配信します。作成したデータの提出方法は後日指示します。

ヤスデが森林生態系に及ぼす影響

鹿児島県立錦江湾高等学校 理数科1年

1508 ○○○○ 1511 ○○○○ 1513 ○○○○ 1515 ○○○○

1 背景と動機

ヤンバルトサカヤスデは異臭を放ち、大量発生することから、以前から問題になっている。ヤンバルトサカヤスデに関する研究は数多く行われており、臭気成分や誘殺法、歩行パターン調節に関する研究などが報告されている。森林土壌生態系の腐食連鎖におけるヤスデ類の機能については研究が行われているが、ヤンバルトサカヤスデが森林生態系に及ぼす影響についてはまだ報告されていない。そこで、本研究では、ヤンバルトサカヤスデが森林生態系に及ぼす影響について、ヤスデがいるところといないところでデータを取りそれらと比較し、ヤスデは森林生態系に良い影響を与えていると仮説を立てた。この仮説を検証するため、今年の1月から研究を開始した。

2 研究方法

1月22日・29日、2月5日に、錦江湾高校理科棟の裏の塀、駐車場、裏山において、50cm×50cmの囲いを設置し、ヤンバルトサカヤスデの数を数え、それぞれの体長をノギスで計測した(図)。また、全ての個体について雌雄も記録する。雌雄で同じ場所にいた場合、つがいとして記録した。また、調査日の天気や気温なども記録した。



図 ヤンバルトサカヤスデの

計測の様子

3 結果と考察

現在、データの入力を行い、分析をしている。

4 今後の展望

- (1) 今後、1年間継続して調査を続ける。
- (2) ヤンバルトサカヤスデが生息していない森林での調査を行う。

5 参考文献

- (1) 新垣和代, 平良淳誠 - 沖縄県衛生環境研究所報, (2001)「ヤンバルトサカヤスデの群遊期における臭気成分」鹿児島県環境保健センター
- (2) 比嘉ヨシ子, 岸本高男, 秋元俊男 (1992)「ヤンバルトサカヤスデに対する誘殺法の検討」ペストロジー学会誌
- (3) 佐藤恵美, 渡邊季誠, 井上康介 (2016)「ヤスデの歩行パターン調節に関する実験的及び構成論的検討」精密工学会学術講演会講演論文集
- (4) 豊田鮎 (2004)「森林土壌生態系の腐食連鎖におけるヤスデ類の機能 (<特集2>土壌生態学の新展開)」日本生態学会誌